

Zero Carbon Park Minamiise ～伊勢志摩国立公園の脱炭素を目指して～



1. 南伊勢町と伊勢志摩国立公園

- ・南伊勢町は、町域の約6割が国立公園区域に指定されており、住民の暮らしとともにある国立公園
- ・見江島展望台における「恋人の聖地」、南海展望台の絶景ブランコ、だけでなく、剣道発祥の地に関する「愛洲の館」、政商として全国各地の航路開拓や治水工事を指揮した河村瑞賢に関する「東宮資料館」などの文化観光施設があるのが特徴
- ・令和2年12月にゼロカーボンシティを表明

見江島展望台



南海展望台



2. 南伊勢町でのゼロカーボンパークの取組

①自然環境の保全に配慮した観光地づくりの推進

- ✓海藻を活用した二酸化炭素吸収固定化(クレジット化)の取り組み。
- ✓国立公園及び居住区域における公共交通の利用促進、町営バス・デマンド交通による無駄な燃料油脂を消費しない移動手段の確保。
- ✓サイクリング用ポート(自転車ラック・空気入れ完備)の設置による自転車移動の推進
- ✓公共施設への電気自動車急速充電設備の導入。
- ✓南伊勢町内全域の街路灯のLED照明化
- ✓「伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会」を中心にエコツアーを推進

【以下、主な取組】

- ・シーカヤック、シュノーケリング、干物づくり体験

海藻養殖(アオサノリ)



Zero Carbon Park Minamiise ～伊勢志摩国立公園の脱炭素を目指して～



②環境問題への意識啓発

- ✓鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターにおいて、小学校児童を対象とした使い捨てプラスチックを減らす取り組みなど、3R環境学習を実施
- ✓南伊勢町水産農林課(種苗センター)における小学校児童を対象とした海洋生物と海洋環境について学ぶ水産学級を実施
- ✓海岸漂着ごみをはじめとする環境問題をより多くのステークスホルダーと共有し、協働による「クリーン作戦」や「海ごみゼロ標語コンクール」を実施する等の参加型意識啓発活動を実施
- ✓町内イベントにおいて「ごみの出し方、分け方PR活動」や子供たちを対象とした「環境クイズ大会」を実施
- ✓星空観測会を通し、光害や大気汚染等に気づき、環境保全の重要性について関心を深め、良好な大気環境や美しい星空を観光や教育などの地域資源として活用

小学校児童を対象とした3R環境学習



③産官学連携による地域脱炭素の取組

- ✓海洋生態系を活用した「ブルーカーボン」による二酸化炭素吸収固定化事業(クレジット化)の実施

【以下、主な取組】

- ・民間企業(中部電力(株))・漁業者と連携し、藻場の実態調査やヒジキの種苗放流の実施
- ・三重外湾漁業協同組合・町営種苗センターとの連携によるヒロメの試験養殖
- ・三重大学との連携による磯焼け(藻場の減少)調査、水中画像解析による炭素貯留量の試算等の学術研究
- ・三重大学によるシーカヤックを活用した狭隘湾内の浅海域における海洋生態系調査



Zero Carbon Park Minamiise

～伊勢志摩国立公園の脱炭素を目指して～

④低炭素、環境に配慮した交通網の利用促進

✓三重交通株式会社が運行する広域幹線バスが五ヶ所バスセンター、道方バスセンターに集積している利点を活かし、自主運行バス(町営バス、デマンドバス)やタクシーなどにより豊かな資源を生かした観光集客が交流を生み、地域が魅力的となるまちづくりを推進している。

【以下、主な取組】

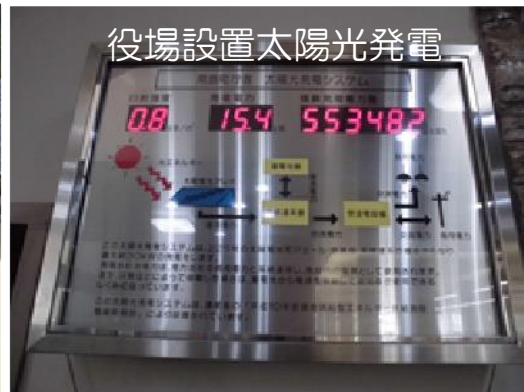
- 町営バスによる定時定路線運行(車椅子乗車可能)
- デマンドバスによる区域運行(車椅子乗車可能)

※ 国立公園区域内観光スポットへの移動も対応(乗降場所完備)



⑤その他の取組

- ✓計画的な公共施設への太陽光発電の導入
- ✓住宅用太陽光発電設備導入補助金による再生可能エネルギーの普及促進
- ✓EV車等の導入促進(充電スタンドの整備)
- ✓きりはらコンポストセンターにおける保育所、小・中学校等の給食残渣(生ごみ)堆肥化
- ✓家庭から排出される生ごみの堆肥化に必要な「ボカシ」の無料配布
- ✓チャイルドシート、子供服等の町独自のリユース事業の推進



生ごみ堆肥化施設きりはらコンポストセンター